



<2019年4月25日発行 会報第970号>

今週のプログラム

(2019年4月25日 第970回例会)

「ファイヤーサイドミーティング③」

藤田 芳浩 会長

次週のプログラム

(2019年5月9日 第971回例会)

「不思議な歌」

柳原 健治 会員

第969回例会 (2019年4月20日・21日) の記録

<会長の時間>

会長 藤田 芳浩

皆様 今日は非常に良いお天気です。本日は、千里メイプルロータリークラブの移動例会で、三重県伊勢市にきています。2018年は、4月7日、8日の2日間で「出雲大社」に参拝させて頂きました。

前回もお世話になりましたが、今回の「神宮」参拝も渡邊了允会員に様々な交渉事をお願い致しました。感謝申し上げます。4月11日の例会では、渡邊了允会員の卓話で「皇大神宮」と「豊受大神宮」及び伊勢旅行に付いてのご説明がありました。重複する部分もあると思いますがご了承ください。

まず皆様よくご承知の内宮と呼ばれるのは皇室のご祖神の天照大神(あまてらすおおみかみ)をおまつりする「皇大神宮(こうだいじんぐう)」です。宇治橋(長さ101.8m)を渡っての参拝となりますが、この宇治橋の近くにおかげ横丁と呼ばれるお土産店等が並んでいる街並みがあります。では、なぜ「おかげ横丁」なのかと言え、江戸時代に起こった神宮への集団参詣が「お蔭詣り(おかげまいり)」と呼ばれたことからだと言われています。およそ60年周期(おかげ年)に3回起こったそうですが、奉公人などが主人に無断で参詣したことから抜け参りとも言われています。最大の特徴は、江戸から片道15日間、大阪から5日間もかかりますが、大金を持たなくても信心の旅ということで沿道の施しを受ける事が出来たので、多くの人々が遠くは今の岩手県辺りから100日もかけて詣でた事です。神宮のお参りは、外宮からと言われております。外宮は「豊受大神宮(とようけだいじんぐう)」です。内宮創建から500年後に山田原(やまだがはら)に、天照大神のお食事を司る神として迎えられました。衣食住をはじめあらゆる産業の守り神です。私達も「豊受大神宮」から「皇大神宮」の順で御神楽と垣内参拝をさせて頂くことになっており、本当に清々しい旅行となります。2018-2019年の親睦活動の中心とも言える「神宮」参拝、伊勢旅行も15名と多くのご参加を頂きました。ご都合が付きご参加いただけなかった皆様にも準備の段階からご協力を頂きました。有難うございます。さて次週の4月25日例会は、ファイヤーサイドミーティング「今後についての意見交換会」です。例会場問題も含めた今後についての様々な要件に関して意見交換を頂ければと思いますので宜しくお願い申し上げます。

<お客様> 相原会員御夫人

<出席報告> 黒川 彰夫 出席担当代理

会員数（内出席免除会員1名）	20名
本日の出席者数	14名
（内出席免除会員 0名 名誉会員 0名）	
本日の出席率	73.68%
前々回 4月4日の修正出席率	75%



<幹事報告> 省略

<SAA報告> 省略

**伊勢神宮参拝（お花見移動例会）の報告。4月20日、21日の記録。**





鳥羽シーサイドホテルにて、

4月21日、外宮からの参拝となった。15名は、清々しく明るい笑顔で、まずは記念写真。





やや強行軍でしたが、相原先生ご夫妻もお元気に付き合っていました。

渡邊会員のご尽力により、内宮と外宮の参拝を無事終えました。

本格的な御祈禱やお神楽も経験させて頂きました。

会員一同感謝の気持ちでいっぱいです。



＜編集後記・追加情報・ チョット一言・ライブラリー・etc＞

昨年の出雲大社へのお参りに続いて、今年は伊勢神宮、内宮・外宮へのご参拝。内宮と外宮のお神楽の違いをしりましたが、自らの膝の痛みには辟易しました。

素晴らしい経験をさせて頂きました。渡邊了允会員には深甚なる感謝を申し上げます。写真の笑顔を見ますと、参加者全員の満足度が表れています。

また、前夜祭と先発隊の思い出も心に焼き付いています。

(文責：黒川彰夫) |